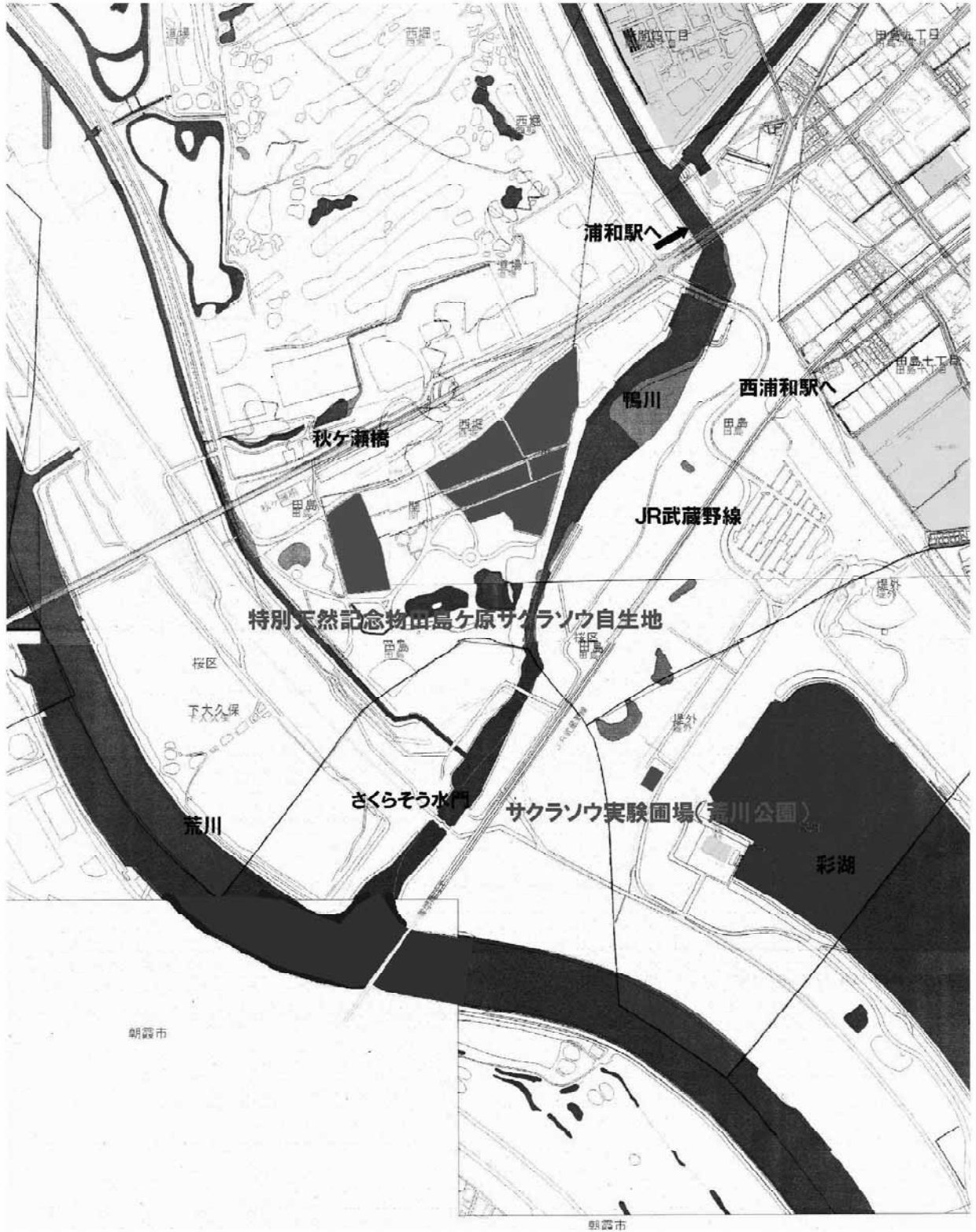


	指定地の現状と問題	問題解決のための提言(基本的な考え方)
地形的・ 管理的な 問題	1 周辺環境の問題	
	(1) 地下水位の低下	
	地下水の汲み上げ、鴨川の河川改修等の影響と考えられる地下水位の低下に伴う自生地の乾燥化	・公園部分や駐車場を改変し、湿地を造成するなどして、湿潤環境を維持する対策をとる
	(2) 河川整備に伴う冠水の現象	
	河川整備に伴い洪水の抑制が図られ、自生地の冠水が減少した	—
	(3) 周辺の都市化による指定地の孤立化	
	都市化の進行により自生地が孤立化し、その結果として帰化植物の侵入が増大した	・花粉等の供給を助けるサクラソウの個体群を周辺域に作る ・周辺地域に訪花昆虫等が生育できる植生の確保
	(4) 荒川第1調節池の影響	
	調節池建設後、洪水の際に自生地の上が流路となり、大量のごみが流れた	—
	(5) 鴨川河岸の問題	
	鴨川河岸の崩壊による自生地の侵食が見られる	・鴨川の河川斜面への立ち入りの制限 ・河岸斜面の帰化植物対策を河川管理者へ要望
	2 公園の整備及び管理の問題	
	(1) 公園造成に伴う廃棄物の埋め立て	
	第2次指定地に廃棄物が残存している	・土壌改良は困難であり、廃棄物処理をあわせた公園整備を要望したい ・環境に配慮したビオトープ的な再整備をするよう働きかけが必要
	(2) 公園の整備方法の問題	
	公園の境界に本来の植生とは異なる植樹が行われているほか、車道舗装等により土地の乾燥化が進行している	・庭園的な植栽から、自然種による低木林を確保する ・公園樹木は芽生え幼木の侵入を阻止するため、撤去を求める ・公園会館としての基本的な配慮が必要 ・駐車場はできるだけ自生地から離す ・砂利石が自生地土壌に混入しないように防止柵を設置する ・電柱は地下ケーブルにする
	(3) 公園管理の問題	
	指定地の囲柵の外に出た希少植物の刈り取りが行われている	—
	3 自生地の土地自体の問題	
	(1) 戦中戦後の開墾による破壊	
	戦中戦後に、食料増産のための開墾が行われた	・周辺の用土で埋め立てる
	(2) 戦後の人為的な土壌の採掘	
	戦後、人為的な自生地の土壌の採掘が行われた	・公園内の余剰土壌で埋め立てる
	(3) 指定地の地形	
全体的に多様性を欠く平坦な地形となっている	—	
4 自生地の管理方法の問題		
(1) 人的な管理体制の問題		
監視体制の不十分さにより来訪者の不法行為を許している	・管理体制の検討や専門の施設の設置 ・自然保護の趣旨を訴え、自覚させる	
(2) 管理施設の問題		
観察路が多く、自生地が細分化されている	・観察路の再整備	
(3) 関係所管との協議体制		
自生地管理のための関係所管の協議体制の不在	・検討協議会を設置するなどして、意見交換の場を設ける	
(4) 見学者への啓発		
見学者への啓発不足	・ボランティアの養成に努める	
活用に関する要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・案内板・解説板の充実</li> <li>・見学会等の実施</li> <li>・講演会・シンポジウム等の開催</li> <li>・愛好者の育成</li> <li>・園芸サクラソウ普及への後援</li> <li>・ボランティアの育成</li> <li>・サクラソウをテーマにした公園・博物館・国際サクラソウセンターの設置</li> <li>・さくら草まつりにおける展示の実施</li> <li>・園芸サクラソウを自生地内で普及させることの再考(さくら草まつり)</li> <li>・自生地は野生のサクラソウを見学する場所として、さくら草まつりは他所で実施すべき</li> </ul>	



特別天然記念物田島ヶ原サクラソウ自生地 周辺地図 1/5800